

# こうふ未来創り重点戦略プロジェクト NEXT【2021年度版】事業等の実施状況一覧

【到達状況】 A：目標どおり・目標を上回る（100%以上） B：概ね目標どおり（80%以上100%未満） C：やや下回る（70%以上80%未満） D：未達成（50%以上70%未満） E：著しく未達成・未着手（50%未満）  
 ※コロナの影響により予定どおり事業が実施できなかった、またはコロナによる社会変化が事業の成果に大きく影響を与えている場合等は「適正な評価不能」としている。

元気スタイル	取組の方向性	番号	事業名	部	課	到達状況 評価	備考	
元気スタイル1 「子ども輝くまち」を創る	1 くらと学びの応援創り	1	子ども未来応援施策の推進	子ども未来部	子ども応援課	A		
		2	子ども応援センターを核としたネットワークの構築	子ども未来部	子ども応援課	B		
		3	時代に即した学習の支援	教育部	学校教育課 学事課	A		
		4	学校環境の向上	まちづくり部	建築営繕課	B		
	2 たくましさ創り	5	子ども運動遊びを推進するプレイリーダの養成	子ども未来部	子ども応援課	コロナにより 適正な評価不能	※コロナ禍においても、開催時期を変更する等、可能な限りの開催に努めたが、当初の目標値に対しては適正な評価を行えないため、コロナにより適正な評価不能とする。	
		6	子ども運動遊び場の提供	子ども未来部	子ども応援課	A		
		7	遊亀公園及び附属動物園の整備	まちづくり部	公園緑地課	A		
		8	子ども・若者の意見表明の場創出	子ども未来部	子ども応援課	A		
元気スタイル2 「健康といきがいのまち」を創る	1 健康の好循環創り	9	健康支援センターの拠点機能の発揮	福祉保健部	健康政策課	コロナにより 適正な評価不能	※新型コロナウイルス感染症の影響により、企画していた事業の中止が相次ぎ、市内スーパー等の民間と協力した開催を拡大するなどの取組を展開したが、目標値に対しては適正な評価を行えないため、「コロナにより適正な評価不能」としている。 ※健康支援センターにおいては、公衆衛生の拠点として、市民の健康を最優先に、コロナ禍における感染拡大の防止等に取り組んだ。	
		10	健康都市こうふの推進	福祉保健部	健康政策課	A		
		11	緑が丘スポーツ公園の再整備	まちづくり部	公園緑地課	A		
		12	地域・職域連携の推進	福祉保健部	地域保健課	コロナにより 適正な評価不能	※コロナ禍による感染拡大を懸念する事業者が多く、当初の目標値に対しては適正な評価を行えないため、コロナにより適正な評価不能とする。 ※講座内容に新たに「睡眠」を追加したことに加え、保育所など新たな分野への周知も展開した。	
	2 いきがいとくましさ創り	13	いきがいインフォメーションの推進	教育部	生涯学習課	B		
		14	地域で支え合う福祉サービスの創設	福祉保健部	健康政策課	コロナにより 適正な評価不能	※2021年度は、2019・2020年度と比べて新型コロナウイルス感染者数がさらに増加したため、地域における協議体の開催や通いの場の構築が困難となり、当初の目標値に対しては適正な評価を行えないため、コロナにより適正な評価不能とする。 ※第2層協議体の設置に向けた地区説明会を実施するとともに、笑顔すこやか通所サークルの設置に向け、元気運動教室の事業者や、利用終了者への説明を実施した。	
		15	防災リーダー等の育成	市長直轄組織	防災企画課	コロナにより 適正な評価不能	※コロナ禍においても、会場の人数を制限するなど実施可能な形態に変更し、リーダーの育成を継続的に展開したが、コロナの影響により、目標値に対しては適正な評価を行えないため、「コロナにより適正な評価不能」としている。	
	元気スタイル3 「女性活きいきのまち」を創る	1 活躍創り	16	「日本女性会議2021 in甲府」の開催	市民部	人権男女参画課	A	
			17	女性たちが創るマルシェの実施	市民部	人権男女参画課	コロナにより 適正な評価不能	※リアルマルシェとオンラインマルシェの併催予定であったが、コロナ禍により、オンラインのみでの開催となり、当初の目標値に対しては適正な評価を行えないため、コロナにより適正な評価不能とする。 ※オンラインマルシェの出店者数を30店舗から50店舗に拡大する等の充実を図った。
			18	「こうふまちづくりラウンジ」の実施	市民部	人権男女参画課	A	
		2 ライフ・デザイン創り	19	女性活躍等に係る提案支援	市民部	人権男女参画課	コロナにより 適正な評価不能	※コロナにより、事業を企画・実施することを躊躇する団体もあり、今年度も2件の応募に留まった。当初の目標値に対しては適正な評価を行えないため、コロナにより適正な評価不能とする。
			20	女性の就業・起業の応援	市民部	人権男女参画課	A	
	元気スタイル4 「潤いと活力あるまち」を創る	1 地域産業・未来産業創り	21	キャッシュレス化の推進	産業部	商工課	A	
			22	販路開拓の支援	産業部	商工課	コロナにより 適正な評価不能	※コロナにより展示会の中止が相次ぎ、目標値に対しては適正な評価を行えないため、「コロナにより適正な評価不能」としている。 ※事業者の海外販路開拓を支援するための、ジェトロ山梨と連携したセミナーの開催や、ジャパンジュエリーフェアにおける本市事業者とタイ国事業者間でのオンライン商談会を実施、また、「宝石のまち甲府ジュエリーマップ」の作成により、本市の宝飾産業の認知度の向上に取り組んだ。
			23	観光客の誘客促進	産業部	観光課	コロナにより 適正な評価不能	※依然として新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けており、当初の目標値に対しては適正な評価を行えないため、コロナにより適正な評価不能とする。 ※感染状況を見極めつつ誘客促進に取り組む、観光入込客数は、前年比約14.9%増となった。
24			新産業・未来産業の立地促進	まちづくり部	産業立地課	B		
25			農業振興の推進	産業部	就農支援課	A		
2 未来へと続く住みよい暮らし創り		26	リニア新時代を見据えた都市環境の創出	まちづくり部	リニア政策課 都市計画課	コロナにより 適正な評価不能	※まちづくりプロジェクトは計画を上回り進捗しているものの、まちづくり研究会等については、コロナの影響により、研究会等の実施が困難であったため、「コロナにより適正な評価不能」としている。	
		27	都市計画道路の整備	まちづくり部	都市計画課 都市整備課	A		
		28	持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	まちづくり部	交通政策課	コロナにより 適正な評価不能	※前年度と比較し、利用者が回復傾向にあるものの、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けているため、コロナにより適正な評価不能とする。 ※バス、タクシーなどの事業継続を支援し、コロナ禍における市民の日常を支える公共交通機関の維持に取り組んだ。	
		29	防災拠点の整備	市長直轄組織 消防本部	防災企画課	A		
		30	地域防災力の強化推進	市長直轄組織	地域防災課	A		
		31	地球温暖化対策の普及促進	環境部	環境保全課 減量課	A		

元気スタイル	取組の方向性	番号	事業名	部	課	到達状況 評価	備考
元気スタイル5 「故郷が好きなまち」を創る	1 「こふ愛」創り	32	故郷こふの学びの推進	市長直轄組織	記念事業課	A	
		33	「甲府市の歌」の普及	市長直轄組織	情報発信課	B	
		34	新たなプロモーション発信ツールの創造	市長直轄組織	情報発信課	A	
	2 新たな宝創り	35	歴史を感じられる甲府城エリアの整備	まちづくり部	都市計画課	B	
		36	史跡等を巡る「散策ルート」の創出	教育部	歴史文化財課	A	
		37	「ドリームキャンパス」の推進	市長直轄組織	記念事業課	A	
		38	甲州人の活躍や歴史などを伝える「語り部こふ」の創出	教育部	歴史文化財課	B	
元気スタイル6 「世界がつながるまち」を創る	1 グローバルな人材創り	39	地域国際交流の推進	市長直轄組織	国際交流課	A	
		40	国際教育の推進	市長直轄組織	国際交流課	コロナにより 適正な評価不能	※2021年度は、2019-2020年度と比べて新型コロナウイルス感染者数がさらに増加したため、交流事業の実施が困難となり、目標値に対して適正な評価を行えないため、「コロナにより適正な評価不能」としている。 ※外国人英語指導講師（ALT）の増員による、小学校での国際教育を全25校で推進した。
	2 海外活力による賑わい創り	41	東京2020オリンピック事前合宿とホストタウン交流の推進	市長直轄組織	国際交流課	A	
		42	外国人留学生の応援	市長直轄組織	国際交流課	A	
		43	外国人を対象とした就業機会の創出	産業部	雇用創生課	コロナにより 適正な評価不能	※コロナ禍においても、ハローワーク甲府管内（5市1町）で外国人を対象とした就職ガイダンスを開催したが、コロナ対策としての留学生の入国制限等があったため、当初の目標値に対しては適正な評価を行えないため、コロナにより適正な評価不能とする。
元気スタイル7 「タフで優しい市役所」を創る	1 成長する人材と組織創り	44	民間企業などの職務経験者等の活用	行政経営部	職員課	A	
		45	先進都市派遣研修等を活用した自律型人材の育成	行政経営部	職員課	コロナにより 適正な評価不能	※コロナ禍により先進事例視察研修は実施できなかったため、コロナにより適正な評価不能とする。 ※早稲田大学マニフェスト研究所主催の人材マネジメント部会には職員3名を派遣し、オンラインによる7回の研究会に参加し、今後の取組をフィードバックしている。
		46	キャリア・スキル（実績・実力）重視の人事制度	行政経営部	職員課	B	
		47	執行体制の最適化の推進	行政経営部	行政経営課	A	
	2 協働して未来に進む市政創り	48	市民活動の支援と応援	市民部	協働支援課	A	
		49	データの活用方法の確立	行政経営部	デジタル推進課	A	
		50	行財政の改革と更なる財政健全化	行政経営部 企画財務部	行政経営課 企画財政課	A	
		51	DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	行政経営部	デジタル推進課	B	